

2022年3月3日

積水化成品工業株式会社（本社：大阪市北区西天満2-4-4 社長：柏原正人）は、日本政府の2050年カーボンニュートラル宣言に賛同し、その実現に向けた取り組みを策定しました。

2050年カーボンニュートラルの 実現に向けた取り組みを策定

当社グループは、2020年7月に策定した「SKG-5R STATEMENT」において、2030年までにCO₂排出量（Scope1+2^{*}）を2018年度比で27%削減する目標を立てています。

世界の気候変動問題への取り組みが加速するなか、日本政府は2020年10月にカーボンニュートラル宣言を行いました。私たちはこれに対応し、2050年度にカーボンニュートラル（排出量ネットゼロ）の実現を目指し、その達成に向けて以下の取り組みを加速させることで、コーポレートメッセージ「人と地球の、美しい未来へ。」を具現化していきます。

目 標

2050年度 CO₂ 排出量を実質ゼロにする。
2030年度 CO₂ 排出量（Scope1+2）を、18年度比27%削減する。

主な施策

生産プロセスの合理化と省エネルギー化の推進
燃料の脱炭素化、再生可能エネルギーへの切り替え
環境投資枠の活用による新規プロセスの開発と新規生産設備の導入
環境貢献製品（サステナブル・スタープロダクト）の創出と事業拡大

当社は1959年、製品体積のほとんどが空気という省資源製品である発泡スチロールの国産化に成功して創業しました。1970年代には、業界に先駆けて発泡スチロールの回収リサイクルを開始し、リサイクル製品の開発にも着手しました。現在、これら取り組みは進化を続け、リサイクル率の向上や環境貢献製品の事業拡大を続けています。また、2020年に「SKG-5R STATEMENT」を制定し、CO₂排出量削減など2030年までに到達すべき環境定量目標を定め、この目標達成に向けた取り組みに注力しています。

このたび、カーボンニュートラル実現という更なる長期目標への取り組みについて検討を行い、2050年をゴールとしたCO₂排出量削減目標と施策を改めて策定しました。

※ Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
Scope2：他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出

■本件に関するお問い合わせは

コーポレート戦略本部 IR広報部
E-mail：ir_pr@sekisuikasei.com
URL：https://www.sekisuikasei.com

以上